

# 留 学 報 告 書

学 部 総合理工学部 学科・課程 数理・情報システム学科

氏 名 江角匠平

1. 留学先大学・学部 国名 中国

大学名 東北師範大学

現地到着日 ( 平成29年 8月 22日) 授業開始日 ( 平成29年 8月28日)

現地出発日 ( 平成30年 7月 15日) 授業終了日 ( 平成30年 7月13日)

2. 日本を出発するまでの主な手続き及び準備

We chat (LINEのような通信アプリ) のダウンロード。We chatで大学のアカウントを追加。ビザ取得。飛行機の搭乗券の購入。中国の先生への事前連絡。大学の送迎バス申し込み。いくらかの元を準備。

3. 自宅から留学先大学までの交通手段 (乗物の種類, 乗り換え地, 所要時間)

車で伊丹空港まで行き、伊丹空港発関空行のバスに乗る。関空からは上海経由で長春空港まで飛行機に乗る。長春空港からは大学の送迎バスに乗る。関空から上海は二時間ちょっと、上海から長春は三時間ほど。

4. 留学先大学での各種手続きの仕方

特になし。事前に送られてきている書類通りに動けばよい。

5. 留学生へのオリエンテーションの内容及びプレースメントテストについて

オリエンテーションではその学期のイベントなどについて話を聞く。語学留学の場合、クラス分けテストがある。テストは筆記試験と面談の二回。筆記試験は中国語検定3級程度のレベルで難しいことはない。実質、面談でクラスが決まる。HSK5級以上の資格があればすぐに高級クラスに入れるが、HSKの受験をしたことがない人は初級か中級に配属されることが多いと思われる。しかし、クラスの希望をすれば、まったく中国語を話せない場合を除いて、希望通りになることが多い。

語学留学でない場合、クラス分けテストはない。(しかし、HSK5級レベルであることは前提にある。)

6. 授業の受け方、ペーパー及び試験の傾向等について

中国語の講義は教科書を理解し、学んだことを応用できるように予習、復習をすればよい。学んだことをしっかり覚えて使えるようになれば、特に傾向等を気にする必要はない。

数学の講義は定義などの概念を理解し、証明と応用できるようにすればよい。試験対策は、過去問を手に入れて解けるようにすることで十分である。困ったときのために、同じ授業を受けている中国人学生と友達になっておくとよい。

7. 留学先大学で学んだ科目のうち特に良かったもの、後輩に勧めたいもの

島根大学で受講できない内容の講義であれば、(担当の先生にもよるが) どれでもお勧め。

8. 留学先大学の住居の種類等について、後輩にどのような寮・アパートを勧めるか

留学生寮は決まっている。孔子奨学金で留学している学生は5、6人の共同の大部屋。大部屋には一人ひとり個室がある。交換留学、あるいは自費留学の学生は孔子奨学金の学生とは異なる建物に住む。一年留学の場合は一人部屋で、半期留学の場合は二人部屋。いずれにしても、中国人と共同で住むことは基本ない。

通常、大学構内の留学生寮に住むことになるため、特別な事情がなければアパートを借りることはない。

9. 寮・アパート生活での注意、生活の様子（行事など）、困ったこと、ルームメイトとの付き合い方、（いつから入れるのか、寮の開閉、寮が閉鎖中の滞在場所等）

普通に生活しておけば注意することはない。隣人がうるさければ、英語か中国語で注意する必要がある（注意しても意味がないことが多い）。入寮の時期や寮の開いている時間はその時によって変わるので、確認しておくこと。

10. 留学先での金銭の扱い及び貴重品の管理について

（どのような口座を利用したか、現金とかカードの利用は、自宅からの送金はどうしたか等）

大学の近くに中国銀行と交通銀行がある。中国銀行のサービスは非常に悪く、お勧めしない。交通銀行は外国人に対してもかなり丁寧で、口座は交通銀行で作れば何かあっても安心である。しかし、外貨両替は中国銀行でした方が安くすむので、個人的には中国銀行で両替し、交通銀行に預金していた。中国銀行で両替するときは、時間に余裕をもっていくこと。場合によってはかなり遅かったりする。時間に余裕がない場合は交通銀行を利用すること。

通常の生活の中では、バスに乗るとき以外は現金を使うことはほぼない。中国での支払いはAlipayかwechatの支払い機能を使えばよい。それらでの支払い方は中国に行ってから慣れればよい。

日本からの送金はしていない。

11. キャンパス案内（どんなとき、どこへ行けばよいか等）

困ったことがあれば留学生課の先生にwe chatを使って相談すればよい。わざわざ先生のところまで行く必要はない。留学生寮のおばちゃんも頼りになる。

12. 現地案内（買物，銀行，レストラン，理髪店，美容院等の様子）

買い物は大学から地下鉄にのって重慶路まで行き、駅からすぐの万達広場というショッピングモールに行けばなんでもそろそろ。銀行は留学生寮から5分ほど歩いたところにあるので現地の人に聞けばよい。食事は大学食堂か桂林路か文昌路に行けばおいしいものがいくらでも見つかる。理髪店や美容院は大学構内にある学生の浴池の二階にある。桂林路や文昌路にもあるので、自分に合うところを探せばよい。

13. 失敗談（どんな小さなことでも）

非常に辛い炒め物を食べた次の日、腹痛により一日中動けなくなった。

14. 病気になった場合の対応について（医療費はどのようになっていたか，保険等はどのようにしたか）

病気になっていない。保険は大学指定のものに加入した。

15. お世話になった方々

現地でできた友達。東北師範大学の先生方。島根大学の先生方。食堂のおばちゃん。日本にいる友達。

16. 留学先国内旅行について（場所，手段，費用，旅行社等）

瀋陽。北京。内モンゴル。哈爾浜。大連。

大概の場合、移動は高速鉄道に乗った。ツアーのようなものもあれば、すべて自分で計画して行くこともある。時期や人数によって費用は異なる。移動費と宿泊費が出費の大半を占める。

17. 気候と服装について

一年中長袖長ズボンで問題ない。冬はかなり寒くなるので、大きめのダウンコートなどがあると好ましい。

ユニクロのヒートテック類は必需品。

18. 日本からぜひ持っていきたいもの（学用品，衣服，食品，薬，運転免許証等）

胃薬。風邪薬。目薬。ノートパソコン。

19. 留学に際し最も役立った本は（専門書，旅行案内書を含めて）

特になし。現地であらゆる本が安く買える。

20. ホームステイの依頼方法

友達に直接お願いする。

---

---

---

---

---

21. 留学費用について

1) 旅費	(往) _____ 30000円, (復) _____ 30000円
2) 準備費用	_____ 40000円
3) 大学へ納入する費用	_____ 0円
授業料 (年間合計)	_____ 0円
保険等その他の費用	_____ 15000円
4) 住居費 (光熱費等含む)	_____ 180000円
5) 衣服代, その他雑費	_____ 5000円
6) 帰国時の土産代, 郵送料等	_____ 2500円
7) 留学先国内旅行費用	_____ 100000円
8) 上記を含めその他すべてを含めた合計金額	_____ 700000円
現地通貨 _____ 日本円換算 _____ 円	

22. 帰国時の荷物の作り方, 送り方等

スーツケースに荷物を入れる。飛行機によって重量制限があるので注意する。郵送はしていない。

---

---

---

---

---

### 23. 留学して得たこと（全般についての感想文）

留学で得たことを大きく分けると、語学に関すること、数学に関すること、そして人間関係の三つに分類できる。まず、語学に関することについて述べる。前提として、私にとって中国語は副専攻ではあるが専門ではない。そのため、時間に余裕があるときや、隙間時間以外はほとんど勉強してこなかった。そして島根大学にいる間、中国語に対するモチベーションの浮き沈みは激しく、モチベーションを維持するのは困難であった。また、留学をするという目的を除いて、中国語を学ぶ意味を感じずに勉強していた。しかし、中国に留学し、専門として中国語を学ぶ人たちと出会うことで、次第に中国語を学ぶ姿勢が変わり、中国語を学ぶ意義がなくても、ただ学びたいという気持ちが出てくるようになってきた。専門だからという理由だけで中国語を学ぶ人や、ただ外国人と交流するためのツールとして学ぶ人など、留学を通してさまざまな人と出会ったことがよかったのだと思う。

次に、数学に関することについてであるが、東北師範大学で数学を学んで感じたことがある。それは、数学を学ぶにあたって概念を理解することは重要であるが、加えて、その考え方を身につけて自分のなかで発展させることが必要であるということである。学んだことを答えること以上に、学んだことを自分で新しい知識につなげることに時間をかけて勉強している多くの学生に出会ったことはとてもよかったと思う。

最後に、人間関係についてである。世界各国の人々と一緒に中国語を学ぶ機会を、留学以外で得ることは難しい。実際、島根大学に留学している中国人は少なくないが、日本人以外で中国語を学ぶ人はほぼいない。そのため、留学を通して中国語を共に学ぶ外国の友達を作ることができたのは非常にいい経験だった。中国語を学んでいるという共通点から、留学が終わってもいまだに連絡を取り合うような友達が世界にできたのはとても良かったし、それだけで今回の留学が成功だと思う。